

「地域キャリア教育支援協議会設置促進事業」実施報告書

1. 実施主体													
本事業を受託し、協議会の核となる自治体、もしくは経済団体等名	静岡県教育委員会(高校教育課)												
2. 現状及び課題													
地域内でのキャリア教育に関する現状	県内公立高校のうち、8割の学校がキャリア教育の年間指導計画を、内7割の学校が全体計画を作成している。また、ほぼ全ての学校にキャリア教育の担当者が配置されており計画的な実践が定着しつつある。しかし、活動内容が校内の教育活動に限られ、学校種間の連携、産学・地域等との情報の共有は不十分であり、発達段階に応じた体系的なキャリア教育が十分には行われていない。												
地域内でのキャリア教育に関する課題	県内公立高校のキャリア教育推進委員会の設置率及び校内研修の実施率は2割に留まっている。県全体の担当者研修会において、文部科学省のキャリア教育アシストキャラバンなどを活用し、キャリア教育に関する講義やワークショップを開催してきたが、これらの研修成果が実践に結びついていない。特に普通科でのインターンシップの実施率は5割程度と低い水準にあることが継続している課題である。												
3. 委託内容に対する取組													
(1) 学校におけるキャリア教育に対する支援を目的として、地域の関係者が参画する会議体の設置及び運営													
地域の推進体制(図などを用いて地域全体の体制が分かるように示すこと)	<p>学校、地域、産業界、行政が連携して協議会(静岡県キャリア教育推進協議会)を設置し、地域産業界の状況や雇用の現状、学校におけるキャリア教育を推進するための実施状況等の情報を共有し、県内のキャリア教育のネットワークを構築した(別紙参照)。</p> <p>(1) キャリア教育を積極的に支援する企業の発掘及び学校との連携を促進し、インターンシップを推進したり、経営者等を学校に派遣したりして、学校におけるキャリア教育を充実する。</p> <p>(2) 学校と地域の連携や社会貢献活動を支援し、児童生徒の地域への理解を深めるとともに、体験活動への取組を促進する。</p> <p>(3) 「学校と企業、地域をつなぐキャリア教育」をテーマとしてシンポジウムを開催し、これらの取組の成果等を学校や家庭、地域、産業界等で共有することで連携を強化し、キャリア教育に取り組む気運を醸成する。</p>												
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">団体名</th> <th style="width: 50%;">役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般社団法人 静岡県経営者協会</td> <td>産業界代表(企業経営者等、学校へ派遣する講師等の紹介)</td> </tr> <tr> <td>一般社団法人 静岡県商工会議所連合会</td> <td>産業界代表(企業経営者等、学校へ派遣する講師等の紹介)</td> </tr> <tr> <td>NPO法人日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会</td> <td>専門家(NPOの活動への学校の参画支援、効果的なキャリア教育を推進するための指導助言)</td> </tr> <tr> <td>静岡労働局</td> <td>行政(労働局の取組情報や雇用情勢に関する情報の提供、キャリア教育を推進するための指導助言)</td> </tr> <tr> <td>県経済産業部就業支援局</td> <td>行政(労働局の取組情報や雇用情勢に関する情報の提供、キャリア教育を推進するための指導助言)</td> </tr> </tbody> </table>	団体名	役割	一般社団法人 静岡県経営者協会	産業界代表(企業経営者等、学校へ派遣する講師等の紹介)	一般社団法人 静岡県商工会議所連合会	産業界代表(企業経営者等、学校へ派遣する講師等の紹介)	NPO法人日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会	専門家(NPOの活動への学校の参画支援、効果的なキャリア教育を推進するための指導助言)	静岡労働局	行政(労働局の取組情報や雇用情勢に関する情報の提供、キャリア教育を推進するための指導助言)	県経済産業部就業支援局	行政(労働局の取組情報や雇用情勢に関する情報の提供、キャリア教育を推進するための指導助言)
団体名	役割												
一般社団法人 静岡県経営者協会	産業界代表(企業経営者等、学校へ派遣する講師等の紹介)												
一般社団法人 静岡県商工会議所連合会	産業界代表(企業経営者等、学校へ派遣する講師等の紹介)												
NPO法人日本プロフェッショナル・キャリア・カウンセラー協会	専門家(NPOの活動への学校の参画支援、効果的なキャリア教育を推進するための指導助言)												
静岡労働局	行政(労働局の取組情報や雇用情勢に関する情報の提供、キャリア教育を推進するための指導助言)												
県経済産業部就業支援局	行政(労働局の取組情報や雇用情勢に関する情報の提供、キャリア教育を推進するための指導助言)												

協議会の構成	大学 静岡大学	教育(大学における研究体験の実施、講師派遣等)
	専門学校(公益社団法人 職業教育振興会)	職業訓練(専門学校における職業訓練の実施、講師派遣等)
	小学校 静岡市立西豊田小学校	学校(縦の接続を踏まえた、発達段階に応じた体系的なキャリア教育の実施)
	中学校 静岡市立安東中学校	
	高等学校(普通科) 県立藤枝東高等学校	
	高等学校(専門学科) 県立静岡農業高等学校	
	特別支援学校 沼津特別支援学校	教員研修(企業・地域との横の接続、発達段階に応じた縦の接続を踏まえた、体系的なキャリア教育の推進)
県総合教育センター		
目標	将来子供たちが直面するであろう様々な課題に、柔軟に、かつ、たくましく対応し、社会人・職業人として自立していくために必要となる能力等を育成するため、社会・職業との関連を重視しつつ、義務教育段階から発達段階に応じた体系的なキャリア教育を推進する。	
方針	<p>目標達成に向けて協議会で協議する具体的な事項は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 職場見学、職場体験及び就業体験並びに大学見学等、発達段階に応じた体験的な学習活動の円滑な実施に関する事。</p> <p>(2) 外部講師を招へいしてキャリア教育を実施する場合に必要な人材の情報提供に関する事。</p> <p>(3) キャリア教育の推進について顕著な功績をあげた企業等に対する顕彰に関する事。</p> <p>(4) 生徒のアイデアを地域の活性化等につなげる取組に関する事。</p> <p>(5) キャリア教育に関する教員研修の効果的な実施に関する事。</p> <p>(6) その他、キャリア教育の推進に関する事。</p>	
事業の自立的かつ発展的な運営体制	協議会の委員は、機関の代表又は関係職員とする。 協議会に教育委員会及び学校関係者等による作業部会を置き、協議会を補完し、協議事項を調整するとともに、取組の推進に必要な実務を行う。	
(2) 学校の教育活動に対して行われる、社会人講師の派遣や企業等が作成する一定の教育コンテンツの提供などによる支援の促進		
① 支援を提案する支援提供者を開拓すること		
一般社団法人静岡県経営者協会、一般社団法人静岡県商工会議所連合会等と連携し、社会人講師の選定やキャリア教育コンテンツの開拓等を行った。		
② 支援に関する提案を学校に提示すること。		
学校のニーズに基づいて社会人講師を選定・派遣する取組を、教育委員会が「ふるさと人材育成事業」として事業化し実施した。		
③ 個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。		
「ふるさと人材育成事業」等では、教育委員会が窓口となって学校のニーズを確認し、推進協議会において、社会人講師や教育コンテンツとのマッチングをおこない13校で経営者等の講師派遣を行った。		
(3) 学校の教育活動として校外で実施される職場見学、職場体験活動及びインターンシップ等に対する支援の促進		
① インターンシップ等の実施場所として児童生徒の受入れを提案する支援提供者を開拓すること。		
インターンシップに積極的な企業を9社を選考し、「キャリア教育推進企業等顕彰事業」として顕彰した、その優れた取組を「キャリア教育推進フォーラム」等で紹介し、インターンシップ等を推進する気運を醸成した。また、静岡労働局等と連携し、企業への受入れ連携を強化した。		

②インターンシップ等に関する支援提供者の提案を学校に提示すること。

「キャリア教育推進フォーラム」において、企業等のキャリア教育に対する目的や考え方を学校が共有するように努めた。平成27年度に実施するキャリア教育担当者の研修会においても協議会の内容を伝え、学校と企業の情報の共有を図る。

③個々の学校のニーズを把握し、そのニーズに応じて支援提供者による提案を紹介すること(マッチング)。

「ふるさと人材育成事業」や「キャリア教育推進フォーラム」等の参加者から意見を踏まえ、個々の学校のニーズにあった、インターンシップの受け入れ先や講師派遣等の教育コンテンツの開発に努めた。平成27年度には、これらの情報を学校とハローワーク等の関係者で構成する進路指導主事地区連絡協議会(県内10地域)で提供する。

(4)その他の取組

学校が教育活動の中で行う、地域連携や社会貢献活動を支援し、地域の中でのキャリア教育を支援するため、地域の活性化等に資する生徒のアイデアを、県の関係部局や産業界に向けて発信し、具現化を図る取組として「高校生ひらめき・つなげるプロジェクト」を実施した。4部局からの政策に関する17テーマを提出してもらい622点の応募があった。自由テーマ部門では51点、実践部門には5点の応募があり、優秀者を「キャリア教育推進フォーラム」で表彰した。また、実践部門優秀者発表を行い当プロジェクトの拡大を図った。

4. 実施内容

実施時期	実施内容
4月	キャリア講演会等に講師を派遣する「ふるさと人材育成事業」の実施(通年)
6月～	「高校生ひらめき・つなげるプロジェクト」にてアイデアの募集開始
9月	「キャリア教育推進企業等顕彰事業」被顕彰企業募集(インターンシップ実施校、静岡県経営者協会、静岡県商工会議所連合会等からの推薦)
11月	「高校生ひらめき・つなげるプロジェクト」審査
2月	静岡県キャリア教育推進協議会(「ふるさと人材育成事業」「高校生ひらめき・つなげるプロジェクト」「キャリア教育推進企業等顕彰事業」等の実施事業の検証、「キャリア教育シンポジウム」事業検討) 「キャリア教育推進フォーラム」の開催(「高校生ひらめき・つなげるプロジェクト」「キャリア教育推進企業等顕彰事業」の表彰と事例発表等、有識者によるパネルディスカッション等)
3月	報告書作成

5. 協議会の成果と課題

静岡県キャリア教育推進協議会が実施する「ふるさと人材育成事業」等で学校と企業との連携、「高校生ひらめき・つなげるプロジェクト」において学校と企業や地域との連携が図られた。今後もこれらの事業を継続し、学校と家庭や地域・社会、企業、就労支援機関、NPO等との協働により様々な教育力を生かす「横」の連携を構築していきたい。

「キャリア教育推進フォーラム」をさらに拡充することによって小学校、中学校とのキャリア教育の情報を共有し、学年間・学校種間の緊密な協力や円滑な接続を通して児童生徒の発達の段階に応じた「縦」の連携を構築していきたい。